

みずほCustomer Desk Report 2023/12/06 号 (As of 2023/12/05)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	147.15 AUD/USD
TKY 9:00AM	147.30	1.0838	159.63	1.2634	0.6618
SYD-NY High	147.39	1.0847	159.69	1.2650	0.6621
SYD-NY Low	146.57	1.0779	158.60	1.2578	0.6544
NY 5:00 PM	147.15	1.0797	158.87	1.2594	0.6552

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	36,124.56	▲ 79.88	日本2年債	0.0300%	0.0000%
NASDAQ	14,229.91	44.42	日本10年債	0.6700%	▲0.0200%
S&P	4,567.18	▲ 2.60	米国2年債	4.5757%	▲0.0606%
日経平均	32,775.82	▲ 455.45	米国5年債	4.1350%	▲0.0759%
TOPIX	2,342.69	▲ 19.96	米国10年債	4.1649%	▲0.0928%
シカゴ日経先物	32,905.00	▲ 145.00	独10年債	2.2370%	▲0.1130%
ロンドンFT	7,489.84	▲ 23.12	英10年債	4.0255%	▲0.1690%
DAX	16,533.11	128.35	豪10年債	4.4370%	▲0.0280%
ハンセン指数	16,327.86	▲ 318.19	USDJPY 1M Vol	8.93%	▲0.16%
上海総合	2,972.30	▲ 50.62	USDJPY 3M Vol	8.76%	▲0.07%
NY金	2,036.30	▲ 5.90	USDJPY 6M Vol	8.80%	▲0.03%
WTI	72.32	▲ 0.72	USDJPY 1M 25RR	▲1.20%	Yen Call Over
CRB指数	266.32	▲ 1.30	EURJPY 3M Vol	8.95%	0.08%
ドルインデックス	104.05	0.34	EURJPY 6M Vol	9.05%	0.05%

東京	東京時間のドル円は147.30レベルでオープン。程なくして高値となる147.36をつけるも、日本株の下落を背景に上値重い展開が続いた。その後、米金利の低下を横目にドル円は146円台後半まで下落し、結局146.84レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.84レベルでオープン。大手格付会社による中国格付の見直し切り下げでアジア株が大幅に下落する中で、ややリスクオフでオープン。立ち上がり146.69まで売られる。しかし、ユーロ圏11月PMIが速報値から改善となると、欧州株は持ち直し、ドル円も結局147.08レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台前半でスタート。米大手格付け会社が中国格付け見直しを引き下げたことを受け、アジア株が総じて軟調な展開、リスクオフの円買いが先行。続いて豪州準備銀行(RBA)が現行の政策金利を据え置き、ドルは対豪ドルで買われるも、最終円買いの流れが続き、146.69まで値を下げる。円買い一巡後は、徐々に戻し、147.08レベルでNYオープン。朝方は147.22まで上昇するも、その後発表された米10月JOLT求人数が予想を下回り、市場はドル売りで反応し、146.57まで売られる。その後、同時に発表された米11月ISM非製造業景況指数ヘッドラインが予想を上回ったことや、構成項目の新規受注と仕入価格も予想を上回った事が材料視され、147.39まで買い戻される。午後は米金利が低下する動きに上値を抑えられ、小幅反落し、147.15レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。1.0840付近での推移後、シュナールECB専務理事が「インフレ率が顕著に低下しており、追加利上げを選択肢から外すことは可能」との発言が嫌気され、売りが先行し、1.0804まで下落。続いて発表されたユーロ圏11月サービス業PMIが上方修正された事を受け、ユーロが買い戻され、1.0814レベルでNYオープン。朝方は独金利低下に伴い、再び売りが優勢となり、1.0786まで値を下げる。午後モユーロ安の流れが続き、1.0779まで続落、終盤は小幅反発し、1.0797レベルでクローズ。

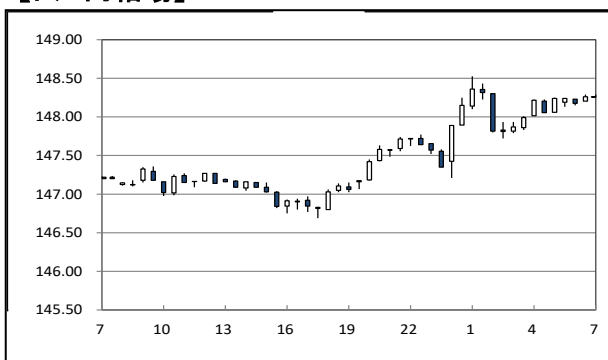
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月5日	08:30	日 東京CPI(前年比)	11月 2.6%	3.0%
	10:45	中 Caixin中国PMIコンポジット	11月 51.6	-
	10:45	中 Caixin中国PMIサービス業	11月 51.5	50.5
	12:30	豪 RBAキャシュレート	5-Dec 4.35%	4.35%
	18:00	欧 サービス業/コンポジット PMI・確報	11月 48.7/47.6	48.2/47.1
	18:30	英 サービス業/コンポジット PMI・確報	11月 50.9/50.7	50.5/50.1
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	10月 0.2%/-9.4%	0.2%/-9.5%
	23:45	米 サービス業/コンポジット PMI・確報	11月 50.8/50.7	50.8/50.7
12月6日	00:00	米 JOLT求人	10月 8733k	9300k
	00:00	米 ISM非製造業景況指数	11月 52.7	52.3

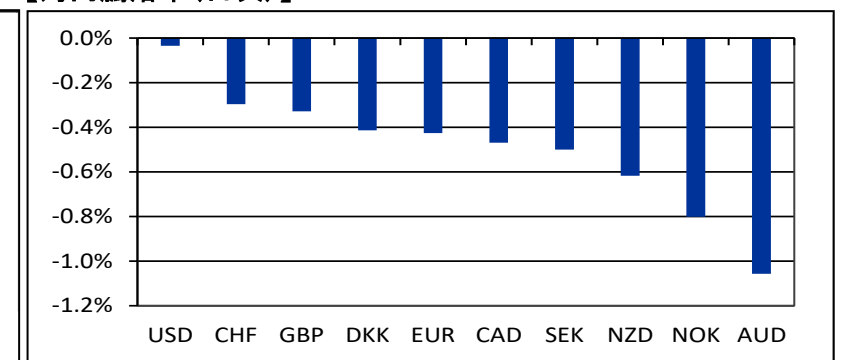
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月6日	09:30	豪 GDP(前年比)	3Q 1.9%	2.1%
	16:00	独 製造業受注(前月比)	10月 0.2%	0.2%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	10月 0.2%	-0.3%
	22:15	米 ADP雇用統計	11月 130k	113k
	22:30	米 貿易収支	10月 -\$64.2b	-\$61.5b

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.6-148.0	1.0750-1.0875	158.0-160.0

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は147円ちょうどを挟んで方向感に欠ける展開となった。東京時間は、147円台前半で小幅な値動きが続いた後、欧州時間に入るとユーロ円などが軟調に推移した影響を受ける形で、146円台まで円高ドル安が進行。米国時間に公表された米10月求人件数が市場予想対比下振れると、一時146円50銭台を付けた。もともと、その後は、ISM非製造業景況指数が底堅い内容であったこともあり、一転して値を戻し147円台を回復した。本日のドル円は引き続き方向感に乏しい展開を予想する。今週末に米雇用統計の発表を控えていることに加えて、ブラックアウト期間中ということもあり相場を決定づける新たな材料が出にくいだけに、どちらか一方高に相場が動く展開は想定しづらい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・升谷